

## 明るく安心して学べる学校づくり

### 不登校生徒の状況

対象生徒は、中学 1 年生の夏休み明けから登校できなくなった。まずは家庭訪問をし、次に放課後登校、そして校内別室への登校につなげた。現在は校内別室に登校できる日が増え、落ち着いた状況で進路を考えることができている。

### 具体的な取組

#### ○魅力ある学校づくり

生徒が明るく安心して学べるように、生徒理解に基づいた指導を基本とし、様々なアンケート（心の声、いじめ、Q U）を活用して、生徒の不安や悩みを把握した。また、行事等で、生徒の意思・判断を重視しながら、一人一人が輝ける場を確保した。

#### ○校内体制の強化

毎週 1 回、特別支援・不登校対策校内委員会を開催し、情報交換や支援策の検討を行った。教員だけでなく、S C や S S W、校内別室指導支援員や特別支援教室専門員も参加して指導や支援の方針を共有することで、校内で統一した対応をすることができた。

#### ○別室の環境整備

校内別室には、個別ブースと交流ブースを設置し、生徒自身が活動内容を決めるようにした。学習プリントのほかに、図書やカードゲーム、パズル、塗り絵などを用意し、校内別室でできることの選択肢を広げて、登校したくなる雰囲気づくりや環境整備に努めた。

#### ○デジタル機器を活用した支援

一人 1 台端末クラウド機能を活用して生徒及び保護者との連絡を行った。

オンライン授業を実施し、自宅や、校内別室から授業に参加できるようにした。



### 成果

- ・校内委員会で一人一人の生徒の支援について検討し、校内で支援の方針を共有することができた。
- ・タブレットを活用した授業配信を行えるようになり、学びの保障をすることができた。

### 課題

- ・小中の一層の連携
- ・不登校対応に対する教員間の共通理解